

# 避難計画策定の取組み事例集の更新案の概要

# 避難計画策定の取組み事例集の更新案の概要について

- 火口周辺地域の検討手順にとりまとめ様式を追加するとともに、記載事例及び検討事例に事例の追加を行う。
- その他、よりわかりやすくなるよう表現の追加・修正を行う。

資料名（第2版の構成）		主な更新（案）	記載箇所
1. 実践的な避難計画策定のための検討手順			
1-1. 火口周辺地域における実践的な避難計画策定のための検討手順	検討手順 【資料3-1-1】	【修正】火口周辺における検討手順の流れについて、「基礎情報の整理」にまとめていたものを、「基礎情報の整理」と「規制方法の整理」に細分した。	資料3-1-1 P3
		【新規】火口周辺における検討手順をイメージしやすいよう、「避難計画の検討の流れ（イメージ）」を追加した。	資料3-1-1 P4
		【新規】複数の火口で噴火警戒レベルが導入されている火山について、複数火口の活動活発時における避難計画を検討する際の手順を追加した。	資料3-1-1 P7
	【新規】緊急退避に関する検討及び周知方法の事例として、雲仙岳（長崎県）で作成された雲仙岳登山道防災マップの作成例を追加した。	資料3-1-1 P19	
	火口周辺地域とりまとめ様式 【資料3-1-1（別紙）】	【新規】火口周辺地域での避難計画検討の際に、噴火警戒レベルに応じた規制方法、主な滞留スペース等への情報伝達、及び下山者の立ち寄り拠点を検討・整理するためのとりまとめ様式を追加した。	資料3-1-1
1-2. 居住地域における実践的な避難計画策定のための検討手順	検討手順 【資料3-1-2】	なし。	
	居住地域とりまとめ様式 【資料3-1-2（別紙）】	なし。	
2. 標準的な避難計画の記載事例	【資料3-2】	【新規】参照するページがわかりやすいよう、記載事例の内容と掲載ページの対応表を追加した。	資料3-2 P3
		【新規】避難計画公表事例を再調査し、手引きに基づく標準記載項目の追補及び新規事例を追加した。	資料3-2 P34,36,37,38
		【修正】近年策定及び公表された避難計画の中から、手引き該当項目を補足する事例の追加・更新や参考となる図面の差し替えを行った。	資料3-2 P30,45,46
		【修正】吹き出しの説明について、当該事例の記載内容について言及するよう表現を統一化した。また、全体に表現の見直しを行った。	資料3-2 P4~48
3. 先進的な検討事例	【資料3-3】	【新規】複数の火口で噴火警戒レベルが存在する霧島山での検討において、複数火口が同時に活発化し、個別の火口の避難計画とは異なる対応が必要となる場合の避難計画を検討した事例を追加した。	資料3-3 P5
		【新規】那須岳での火口周辺からの避難経路の検討において、地元をよく知る機関の意見を踏まえて検討した事例を追加した。	資料3-3 P6